

## 「停戦交渉」ロシアが軟化も…ウクライナ市民への無差別攻撃加速

公開日：2022/03/17 14:15 更新日：2022/03/17 14:15

ロシアとウクライナの停戦交渉で、ウクライナのポドリャク大統領府顧問は「ロシアは大きく軟化した」と指摘し、「両国の大統領の直接の首脳会談で調印できる文書の策定を交渉の中で進めている」「それが戦闘を終わらせる唯一の選択肢だ」と語った。

**英紙**フィナンシャル・タイムズは停戦交渉について、両国が15項目の停戦案で協議中と報道。ウクライナは北大西洋条約機構（NATO）加盟を断念した上で、米英トルコなどによる安全保障と引き換えに外国軍の基地構築、外国の兵器搬入をしないことを約束する内容とされる。

ただし、クリミアや親ロシア派地域の帰属問題は「別個の事案」として調整が難航しているもようで、ポドリャクは同紙に「侵攻後に制圧された地域からのロシア軍撤退の保証を話し合っている」と述べた。

### マリウポリでは住民避難の劇場爆撃

**米国防総省高官**は16日、黒海に展開するロシア海軍がウクライナ南部の要衝オデッサ付近に砲撃を行ったと明らかにした。首都キエフを含むウクライナ北部の戦線は膠着状態が続いている中で、揚陸作戦や地上侵攻前の地ならしの可能性もある。

一方、南東部の要衝マリウポリでは同日、劇場が空爆を受け、建物が大きく損壊した。ウクライナのクレバ外相はツイッターで、劇場には当時数百人の市民が身を寄せていた可能性があるとして「大規模なロシアの攻撃で、再びおぞましい戦争犯罪が起きた」と**非難した**。攻撃が続いて救助隊が近づくことが難しいため、死傷者などの詳細は不明だという。またロシア軍が占拠した同市の病院では患者や職員ら約400人が「人間の盾」にされ、地下に閉じ込められ人質状態となっているという。